

第 32 回佐潟周辺自然環境保全連絡協議会意見書概要及び考え方

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1-1	資料1	佐潟水門前の砂礫質堆積物撤去作業のデータ(撤去土砂量、撤去後の水深、底泥の堆積量など)を示してほしい。	昨年 10 月の土砂撤去後に調査を行った結果を追加資料1として提出いたします。また資料内容に関しては、次回佐潟協議会で改めてご説明いたします。
1-2	資料2	N の中・下流における濃度上昇はハス等が回復すればある程度は抑えられると思うが、それ以上に水質が悪化(富栄養化)して、アオコが増殖し、発芽・生育ができない。(カメ・ザリガニの影響もあり)。相当に大規模(大胆)な対策が必要と思う。	ハスの復活に関しては、佐潟と歩む赤塚の会やコミュニティ佐潟が中心となり取り組みを進めていただいています。今年度は、計画にある標準水位による管理とするように地域関係者と協議していますので、その結果を見ながら新たな対策を検討していきます。
2-1	資料1	地元の方々に大きなご負担をかけるが、水位管理は従前の方法に戻してほしい。	水位管理に関しては、昨年度から地域関係者と協議を行い、計画に記載されている、かつて佐潟で行われていた標準水位の管理となるよう見直しを進めています。今後は、その結果も踏まえながら、効果的な水位管理のあり方について検討していきます。
2-2	資料1	水質調査の結果は、HP の掲載が 2020 年 5 月 8 日を最後に消えているが、重要な指標であるため、従前のように告知してほしい。	佐潟の水質調査結果は、一時公表が滞っておりご迷惑をおかけしました。従来通り公表できるように準備を進めていきます。

2-3	その他	<p>【アオコ】が最大の課題であるが、自然界は広く多岐にわたっているため、野鳥・魚類・貝類への影響も考えられる。調査項目の拡大(佐潟に関わっている自然界)を要望する。また、農業組合・漁業関係者に当協議会メンバーへ参加してほしい。参加が難しいようであれば、個別にヒアリング調査をするなど工夫を検討していただきたい。</p>	<p>市では、定期的に佐潟の植生調査を行っており、モニタリングを行っていません。アオコの発生により水域の動植物に影響が出ている可能性があるため、まずは佐潟の協議会の会員も含め関係者から聞き取りを行い、情報を収集します。また動植物に関しては、市民参加型の調査などを企画しながら、多くの方から現状を確認いただく機会も検討していきます。</p> <p>また、農業分野に関する地元関係者の参加はご指摘の通り重要であり、今後協議会に参加いただけるよう調整していきます。</p>
2-4	その他	<p>マスメディアの利用 佐潟にとっては、ビッグニュースになる「ハクチョウ」の初到来。到来が一万羽を超えたなどマスメディアを利用し、通知するなど市民への関心度を高める方策を検討してほしい。 (佐潟湿地センターの入場数の目標設定を検討願う)</p>	<p>ハクチョウの初飛来や昨年度1万羽を超える佐潟に関連する情報については、佐潟水鳥・湿地センターのホームページや Twitter を活用し、情報発信に努めております。</p> <p>なお、周知後は地元新聞社の朝刊掲載や地元テレビ局がニュースに取り上げていただくなど、マスメディアからも情報発信に協力いただいております。</p> <p>また、佐潟水鳥・湿地センターの入場者数を目標設定にしたことが過去にあります。現在は入場者数での目標設定ではなく、センターで開催する事業数を目標としています。</p>
2-5	その他	<p>ホームページの開設 前回の協議会開催日の前日に行政部文書が発出されたが、その後、佐潟情報を皆無であるため、再検討を申し出る。</p>	<p>佐潟に関する情報については、佐潟水鳥・湿地センターのホームページや Twitter を活用して、引き続き情報発信を図っていきます。</p>